



臨床での看護を『実践報告』する 「ヒントとコツ」

長田暁子 先生

(大阪府立大学 地域保健学域 看護学類
小児看護学分野准教授／小児看護専門看護師)

施設において日々取り組んでいる実践を意味づけ、それを読み手と（あるいは、それをみんな）共有することは、がん看護が発展するうえで大変重要です。みなさん、「実践報告」を書いて投稿してみませんか。本講演では、臨床での看護実践を「実践報告」として論文にまとめるときのポイントについてわかりやすくご講演いただきます。

